

研究構想図

<学校教育目標>

しなやかで、たくましい

心とからだを育む新堀小

- 進んで学び合う子
- 心豊かで思いやりのある子
- 健康でたくましい子

<体育科の目標>

- ・心身の健康の保持増進
- ・豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成

<学習指導要領>

「生きる力」を育むために

3つの資質・能力をバランスよく身に付ける

- ・「知識・技能」の習得
- ・「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養

<令和3年度の研究>

主題「運動の楽しさや喜びを味わい 3つの資質・能力を育む体育学習～主体的・対話的で深い学びを通して～」

<児童の実態>

- 【成果】運動の楽しさを感じる児童の割合が増えた。
- 【課題】自分の成果を振り返り、主体的に次時の課題を見付け学習していくことが、まだ不十分である。

<教員の指導の実態>

- 【成果】様々な領域において、体育の基本的な授業の展開の仕方が身に付いてきた。
- 【課題】教師側の適切な見取りが不十分で、効果的な助言ができていない。

<令和4年度 研究主題>
運動の楽しさや喜びを味わい、3つの資質・能力を育む体育学習
～指導と評価の一体化のための学習評価の工夫～

<目指す子供の学びの姿>

低学年

やりたい運動を工夫し、楽しみながら取り組み、友達の良い動きから次にやりたい運動を見付ける児童。

中学年

自分の課題をもって運動し、自分の動きを振り返り、次時の課題をもてる児童。

高学年

自分の力に応じた課題をもち、自己調整しながら実践し、自己を振り返り、対話を通して仲間と互いに高め合う児童。

<研究の視点>

- ①子供の自己評価の力の向上
- ②教師の子供の学習状況を見取る力の伸長

<具体的な手立て>

個別最適な学び・協働的な学びの充実 発達段階に応じた評価の仕方
教師の支援(学習資料のコメント返しや声掛け)